

台風7号・8号に備え、千葉県内各地へ給電車を回送 災害時の安心を支える“移動できる電力”として地域施設を支援

勝又自動車株式会社では、台風7号・8号の接近に伴う停電リスクに備え、2026年6月26日、千葉県内の福祉施設へ給電対応車両を回送しました。

本取り組みは、災害時における電力供給支援を目的として、東京電力パワーグリッド株式会社と連携して実施している防災・減災活動の一環です。台風や大雨などにより停電が発生した際、地域の福祉施設等において必要な電力を確保できるよう、事前の備えとして給電車両の配備を行っています。

今回の対応では、鋸南町および匝瑳市の福祉関連施設へ、合計4台の給電車を配車しました。各施設とは事前に連絡を取り、受け入れ体制や設置場所などを確認したうえで、停電時に必要な電力を確保できるよう準備を進めました。

当日は、給電車両の回送に加え、給電マニュアルの確認、貸渡書類の準備、燃料の確認など、現地で速やかに対応できるよう一つひとつ手順を整えました。災害時の対応では、車両を届けるだけでなく、施設の皆さまが安心して使用できる状態にしておくことが大切です。

幸いにも、今回の台風では、配備した施設において停電等の被害はなく、給電車両が稼働することなく無事に回収することができました。

一方で、施設の皆さまからは、「給電車があることで安心できた」「停電への不安が軽減された」「事前に備えていただき本当にありがたい」といったお言葉をいただきました。実際に稼働する場面がなかったことは何よりですが、事前に備えておくこと自体が、地域の皆さまの安心につながることを改めて感じる機会となりました。

給電車は、災害時に照明や通信機器、生活に必要な電化製品などへ電力を供給できる車両です。特に福祉施設では、停電が発生した際にも利用者の皆さまの安全確保や施設運営の継続が求められます。そうした場面で、給電車は一時的な電力確保の手段として活用することができます。

近年は、台風や大雨などによる停電リスクが身近なものとなっています。被害が発生してから動くのではなく、事前に備えておくことで、万一の際の不安を少しでも減らすことができます。今回の給電車回送も、その備えの一つとして実施しました。

勝又自動車では、今後も東京電力パワーグリッド株式会社をはじめとする関係各所と連携しながら、地域の皆さまの安心につながる取り組みを、ひとつひとつ実施してまいります。

